

2006 年前期 プログラミング環境 (IS 科 2 年) 第 13 回 (7 月 7 日) 真貝

今日の到達目標

- 演習マラソン
- 中間テスト (ワイルドカード, 正規表現, find と grep, プロセス制御)
- web ページを作ろう
- 定期試験は, 7 月 21 日 (金) 4 限 1311 教室です. Good Luck .

Web ページ作成の手順

1. Emacs などで, html 形式で書いたファイル (例えば, test.html) を作成する.
2. 自分のホームディレクトリにある public.html ディレクトリに, ファイルを置く.
3. Mozilla などブラウザで, 指定する URL は, `http://www.info.oit.ac.jp/~e1a01234/test.html`

0.1 html ファイル構造

次のようなファイルを作成し, test1.html として, web 公開してみよう.

```
<html>
<head>
  <title>ここにタイトルを書く</title>
</head>
<body>
テストページです.
</body>
</html>
```

- `<head>` から `</head>` までの間は, ファイル属性を書く. 例えば, 文字コードを次のように指定しておくといよい.

```
<meta charset=iso-2022-jp">
```

- `<body>` から `</body>` までの間に書いたものが, web ページとして表示される.

0.2 html 文法ミニマム

- すべての指示は, `< >` と `</ >` とで囲まれる.
- ソースファイルの改行や空白は, ブラウザでは無視される.

0.3 文字の装飾の方法

```
<font color="red">赤い文字</font>
<b>太文字</b>
<i>イタリック</i>
<h1>h1 の大きさの文字</h1>
<h2>h2 の大きさの文字</h2>
<font size="+2">+2 サイズ大きな文字</font>
<p>段落分け</p>
<br>改行</br>
<blockquote>全体を少し右寄せ</blockquote>
<div align="center">中央に</div>
<div align="right">右揃え</div>
```

0.4 リンクの方法

- URL または、相対パスでリンク先を記述する .

```
<a href="http://www.is.oit.ac.jp/">情報科学部へ</a>
<a href="kadai0630/dickens.txt">相対パスで自分のサイトへ</a>
```

リンク先がディレクトリの場合、ブラウザは、その中の index.html ファイルを探して表示する .

- ファイルの途中部分に飛ばすためには、飛ばす先に

```
<a name="jump">ここにジャンプ</a>
```

と、記載しておき、

```
<a href="#jump">ここにジャンプへ</a>
<a href="test.html#jump">test の jump へ</a>
```

- target 属性を指定することにより、リンク先を別ウィンドウで表示することができる .

```
<a href="http://www.yahoo.co.jp/"
  target="_blank">Yahoo!</a>
```

0.5 箇条書きなど

```
<ul>
<li>箇条書き 1 </li>
<li>箇条書き 2 </li>
</ul>
```

```
<ol>
<li>番号付きリスト 1 </li>
<li>番号付きリスト 2 </li>
</ol>
```

0.6 表

```
<table>
<tr>
<td>1-1</td>
<td>1-2</td>
</tr>
<tr>
<td>2-1</td>
<td>2-2</td>
</tr>
</table>
```

0.7 その他

- 横線は、`<hr >`
- そのままテキストを表示するには、

```
<pre>
  そのまま表示
</pre>
```

- ブラウザで表示されないように、コメントを次のように残せる .

```
<!-- コメント コメント -->
```

世の中、たくさんの web ページ作成ソフトがあるが、ここに記載した html 文法だけでも、かなりのページを作成することができるだろう。ブラウザで「ソースファイル」を見れば、そのページに、実際何が書かれているのかを研究することができる。

画像などの置き方、ウェブ全体のデザインに統一感を出すためのスタイルシート、閲覧者の要求に応じて動作させる JavaScript など、興味があれば、どんどん習得して欲しい。